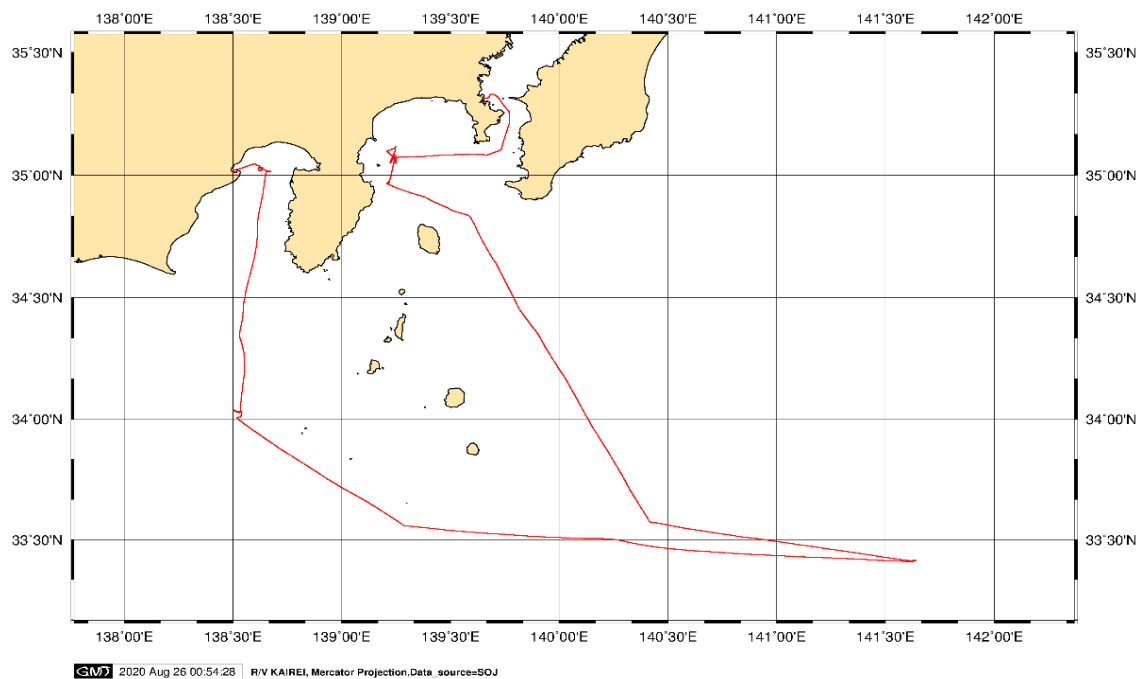


クルーズサマリー

1. 航海情報

- (1) 航海番号： KR20-07
- (2) 使用船舶： かいれい
- (3) 航海名称
無人探査機「かいこう」試験潜航
- (4) 首席研究者
南部 喜信 (海洋研究開発機構)
- (5) 課題代表研究者
KR20-07 南部 喜信 (海洋研究開発機構)
JS20-06 野村 瞬 (海洋研究開発機構)
TC20-KR-01 布浦 拓郎 (海洋研究開発機構)
- (6) 研究課題名
KR20-07 無人探査機「かいこう」試験潜航
JS20-06 深海底で長期曝露中のコンクリート供試体の回収と新たな供試体の設置
TC20-KR-01 オープンイノベーションに資するバイオリソース(海底堆積物等)の採取
- (7) 航海期間
2020/08/22 - 2020/08/26
- (8) 出港～帰港
横須賀港 JAMSTEC 専用 1 号棧橋 - 清水港日之出 2/3 号岸壁
- (9) 調査海域
相模湾、伊豆・小笠原海溝、駿河湾及び南海トラフ北縁部
- (10) 航跡図

KR20-07_NavTrack



2. 調査概要

● 無人探査機「かいこう」試験潜航

陸上整備後の各機器やシステム全体の健全性を確認するため、水中にて総合作動試験を実施し、また操船やマニピュレータ等を使用した操作訓練を実施した。実施内容は下記の通り。

(1) 最大潜航深度 5800m において、海上試験要領書に記載の各試験項目について、作動試験を実施しシステムの健全性を確認した。

(2) レスポンダ/トランスポンダの動作確認および水中雑音計測。

(3) ビークル海底航走、マニピュレータ作業等、機体操作全般の訓練

#846(1,172m), #847(5,802m), #848(3,517m)の試験潜航を実施し、2項目の機器故障を発見し修理した。

● その他の作業

(1) 深海底で長期曝露中のコンクリート供試体の回収と新たな供試体の設置

深海域に設置されたコンクリートの劣化メカニズムを理解するため、「かいこう」により南海トラフ北縁部の海底着座型プラットフォームにアクセスし、以下の項目を検証した。

1) YK18-09, KR19-08 航海で設置したコンクリートの回収と新たな供試体の設置を行った。

2) 歪計測器を埋め込んだ大型コンクリートブロック等を海底に設置し、深海底でのコンク

リート変状の原位置測定を行う。

(2)オープンイノベーションに資するバイオリソース（海底堆積物等）の採取

・任意の潜航地点において、堆積物コアを複数採取し、船上にて接種源あるいは環境ゲノム資源として、適切な保管処理を行った。